

4 年半の活動報告

在任中の活動報告や、日々の活動を通じて感じたことを分野ごとに毎号行っています。今回は「目の前の景色を変える。里山千年構想」です。

我が国の森林面積は約 7 割、私たちの住む美濃加茂市の森林面積の割合をご存知ですか？ 7481haのうち、美濃加茂市の林野面積は2958haで、約 4 割となります。針葉樹である濃い緑が広がるエリアのほとんどは、戦後の木材不足の折に、スギやヒノキが植林されました。当時は森林を整備し、木を大切に育てることで将来の貴重な財産になると信じられていました。しかし、この 70 年の間に我が国はエネルギーの転換と価格の安い輸入材に頼ることが当たり前となってしまう、森林は手入れされなくなってしまうしました。

森林が荒れてしまうことで、土砂災害や洪水発生、イノシシやシカをはじめとした動物が農地や人が住む地域まで出てきてしまう鳥獣被害の原因となってしまうなど、様々な問題が起こっています。また、育ってしまった木は二酸化炭素の吸収能力も無くなってしまうため、植え替えをしなければなりません。

森林を整備することで、それら幾つもの課題を解決することに加え、美しい河川や海を守ること、生態系を守ること、都会には無い子どもたちの遊び場・成長の場を造ること、山菜や松茸が採れるなど、私たちの地域ならではの生活空間を取り戻すことが可能となります。

そのような将来に向けた思い、地域の皆さんの声や力により「里山千年構想」がスタートしました。自然を相手にしたこの政策は、長い視点で考えなければならないので「千年」という壮大な時間軸で命名しました。

この「里山千年構想」は、市役所や市議会の皆さん、地域の皆さん、可茂森林組合、加茂農林高校、国際たくみアカデミー、美濃市にある国際森林アカデミー、企業各社をはじめ、多くの方の協力を得ながら期待以上の成果を出しています。

【里山整備】

荒れている山を見極める一つの方法は「竹林」の広がり方です。山の手入れができなくなると、竹がどんどん広がっていきます。そして、森林を再生するためには、まず竹を一掃しなければなりません。

ここ数年、市内各地では、地主さんや地域住民の皆さんの協力と市役所の「里山係」と「竹の破碎機」の投入により、竹に覆い尽くされた山林が見違えるように綺麗になっています。伐採した竹も粉碎することにより、様々な用途が見つかっています。



山之上や三和の北部エリアだけでなく、蜂屋、古井地区でも自治会を中心に地域の方の主導と市役所の協力により進んでいます。里山整備作業への参加や、相談は随時行われているので、ご関心がある方は是非お知らせください。

【木材の利用】

市内の森林を調査したところ、この地域の特色として「精」（あべまき）という木が群生していることがわかりました。あべまきは皮が非常に厚く、かつては皮をコルクとして利用していたそうです。木材としての歴史も古く、京都の桂離宮の門には皮付のまま使用されています。あべまきを利用した家具や文房具、名刺入れをはじめ、様々な活用法が研究されています。特に「あべまき地域材プロジェクト」は山之上小学校において、5年生の時にあべまきの伐採を体験し、6年生では木材から学校机の天板をつくる挑戦をします。そして出来上がった天板は6年生から新1年生に贈られます。このプロジェクトが林野庁長官賞やキッズデザイン賞を獲得しています。あべまきは市内の加茂野交流センターの机、美濃加茂サービスエリアの棚、リバーポートパークのカウンターなどで見ることができます。是非、重みのあるあべまきを触ってみてください。また、間伐材を薪として地域で利用するために、各家庭や事業所における薪ストーブの設置を推奨しています。今年度からは薪ストーブ等購入補助金もスタートしています。



【森のようちえん】

里山のある美濃加茂市で、子ども達が自然の中でのびのびと遊べる場所をつくってこうと、ボランティアの皆さんや保育園の先生のご協力により数年前にスタートしました。全国的にも広く展開されている取り組みですが、公共として森の活用と子どもたちの成長をつなぎ合わせられるような仕組みづくりに取り組んでいます。



更に今後は、日常的に里山での体験ができるような整備と取り組みの推進を期待しています。

その他にも、企業の力で森林整備を行うプロジェクトや、みのかも健康の森のリニューアル、県の理解を得て「日本昭和村」が「ぎふ清流里山公園」として再出発しました。

地域の貴重な資源であり、歴史や文化が詰め込まれた自然環境を私たちが再認識することは、真の意味での美濃加茂市の地域活性化に繋がっていきます。

発行：藤井浩人同志会
〒505-0041 岐阜県美濃加茂市太田町1792-1
TEL 0574-25-1937
ホームページ：<http://hiroto-fujii.jp/>

藤井浩人同志会へ入会いただける方、「藤井浩人TIMES」配布ご希望の方は、裏面のメールアドレスへご連絡いただくか、お電話にてご連絡下さい。